

議案第 2 号

令和 8 年度公立学校共済組合盛岡宿泊所事業計画及び予算について

令和 8 年度公立学校共済組合盛岡宿泊所事業計画及び予算について、公立学校共済組合運営規則第 6 0 条第 2 項第 3 号に基づき議決を求めるものである。

令和 8 年 2 月 10 日

公立学校共済組合岩手支部
支部長 佐藤 一 男

令和8年度公立学校共済組合盛岡宿泊所事業計画及び予算

1 事業計画及び予算の考え方

公立学校共済組合宿泊施設の運営は、宿泊施設運営要綱に基づき、独立採算を原則とした施設運営を行うことを求められており、中期経営計画の実施と施設の老朽化や保有資金等の状況から、施設の在り方について検討が必要な状況となっている。

また、本部より令和7年10月29日付通知にて、支部保健経理繰入金の適正化が実施された。これまで、保健経理からの繰入れにより大規模な改修等を実施してきたが、令和8年度以降はこれまで同様の繰入は認められず、全て自己資金による対応を求められる非常に厳しい状況である。

このような状況を踏まえ、令和8年度事業計画及び予算については、施設運営に必要な設備改修の実現に向け、更なる収益力の拡大と保有資金の増加を図ることを目的とし、自社ホームページやSNSでの情報発信、新規セールスの徹底を計画的に実施し、売上目標値の達成と経費コントロールによる収支改善を図ることとする。

施設を取り巻く環境は、物価高騰や賃金の引上げなど年々厳しさを増しており、営業損益の黒字や収益力の向上が不可欠であるが、顧客満足度向上とお客様に喜んでいただけるサービスを提供することを忘れず、経営基本理念のとおり、もう一度来館したいと思える施設を目指して職員一丸となって取り組む。

2 経営基本理念

- ・ 「お客様の要望を原点とし、3つの心《誠意・感謝・安心》でおお客様をお迎えし、もう一度来館したいと思える施設を目指す」
- ・ 「職員が誇りと豊かな生活を享受できる環境づくりを目指す」

3 基本方針

経営基本理念及び数値目標の達成に向け、全館及び部門別の基本方針は以下のとおりとする。

(1) 全館

- ア 売上目標値達成と更なる経費の抑制により、営業損益5,000千円以上の黒字を達成すること
- イ 独立採算により設備改修できるよう、設備改修費用10,000千円の確保を目指すこと
- ウ 計画的な設備投資も含め、顧客満足度向上に向けた取り組みをより一層推進すること
- エ 県内児童作品展示の継続と職域貢献事業の推進に取り組むこと
- オ 経営状況を基に支部と今後の施設の在り方について検討を重ね、必要な対策を迅速に実施すること

(2) 部門別

① 宿泊部門

- ア レベニューマネジメントを推進し、繁忙日の収益拡大と更なる集客を図ること
- イ お客様の要望を基に各種プランの開発、現行プランの見直しを実施し、積極的に販売すること
- ウ 予約サイトの口コミや客室アンケートを基に設備の補修や備品の導入を実施し、顧客満足度の向上を図ること

② 会議部門

- ア 例年物件は利用直後に次回や来年の予約についてセールスを実施し効率的な営業活動を実施すること
- イ 自社ホームページによる情報発信を徹底し、新規利用者の獲得を図ること
- ウ 新規物件については、利用終了後に感想や要望、サービスに不備が無かったかなどを確認し、継続利用に繋がるようフォローセールスを徹底すること

③ 宴会部門

- ア フォーキャストによる予約進捗管理と営業活動についてPDCAサイクルによる管理を徹底すること
- イ 市内近郊の小中高支援学校及び近隣一般企業へのセールスを徹底し、既存物件の掘り起こしと新規物件の獲得を図ること
- ウ 商品やプラン開発については、競合ホテルの情報収集と同共済の他施設の取り組みなどを参考とし、魅力的な商品開発に取り組むこと

④ 婚礼部門

計画において数値は見込んではいないものの、両家の顔合わせや結納に対応したプランや二次会等の利用促進について、組合員を中心にPRを行うこと

⑤ グリル部門

- ア SNSや自社ホームページにより、ランチや各種イベント、企画商品についての情報発信を徹底し、効果的な販売促進による集客を実施すること
- イ イベント企画、テイクアウト商品について、競合ホテルや飲食店、類似イベント等の情報収集を徹底するとともに、同共済組合の他施設の好事例やお客様アンケートを基に魅力ある商品開発と顧客満足度向上に取り組むこと
- ウ ランチメニューはPOSレジによるABC分析を基に、競合店の情報をチェックしながら、自社商品の改善に取り組むこと

4 令和8年度予算（案）と令和7年度決算見込との比較

（単位：千円、人）

項 目	8年度予算（案） (a)		7年度決算見込 (b)		増減 (a)-(b)		増減理由		
	金 額	人 員	金 額	人 員	金額	人員			
収入	施設収入 宿泊外	宿泊	44,106	10,656	42,385	9,856	1,721	800	ビジネス及び団体客の増
		会議	57,511	40,305	55,479	36,098	2,032	4,207	新規物件の獲得による増
		宴会	152,654	30,658	136,099	28,332	16,555	2,326	既存顧客の掘り起こしによる増
		婚礼	0	0	0		0	0	
		Grill	43,015	18,110	42,131	19,591	884	▲ 1,481	利用単価増による増
		その他	557	—	623		▲ 66	—	
	計	297,843	99,729	276,717	93,877	21,126	5,852		
	商品売上	4,862	—	4,773	—	89	—		
	売上高	302,705	—	281,490	—	21,215	—		
	賃貸料・その他	7,132	—	7,149	—	▲ 17	—		
	特別利益	0	—	0	—	0	—		
	追加費用負担金	1,000	—	998	—	2	—		
保健経理から繰入金		—	10,000	—	▲ 10,000	—	繰入金の見直しによる減		
経常収益	310,837	—	299,637	—	11,200	—			
支出	営業費用	人件費	129,364	—	129,055	—	309	—	給与改定による増
		材料費	73,334	—	66,914	—	6,420	—	収入増加に伴う食材仕入増
		営業費	95,500	—	92,441	—	3,059	—	収入増加に伴う各種費用増
	計	298,198	0	288,410	0	9,788			
	減価償却費	14,895	—	12,453	—	2,442	—	減価償却による増	
特別損失		—		—	0	—			
経常費用	313,093	—	300,863	—	12,230	—			
損益	営業損益	4,507		▲ 5,922	—	10,429			
	経常損益	▲ 2,256	—	▲ 1,226	—	▲ 1,030	—		

※人件費に追加費用負担金を含む

※（ ）内の数値は収支、損益額に含まれておりません。